



にゅーすきじ ニュース記事から ねん がついたち 2017年12月1日~2018年5月31日 にち 新聞摘要

### 12月4日(星期一)

厚生労働省公布, 遺華日本人一行 4 人 (遺華日本人 4 人、护理人员 4 人) の集体暂时回国日程是从 12 月 5 日(星期二)到 12 月 16 日(星期六), 共 12 天。委托公益財団法人《中国残留孤儿援护基金》实施。厚生労働省从平成 6 年开始实施中国遗華日本人的集体暂时回国活动, 平成 5 年之前, 集体暂时回国是由民间团体负责实施的。

### 2月21日(星期三)

吉永小百合女士参加演出的新电影《北之櫻守》将于 3 月 10 日起在全国开始公开放映。这部电影讲述的是第二次世界大战末期, 从南库页岛(萨哈林岛南部)返回祖国, 之后在北海道・网走度过战后艰难岁月的母亲与儿子的故事。吉永女士扮演其中的母亲, 堺雅人先生扮演儿子的角色。

### 2月23日(星期五)

一位长期担任中国遗華孤儿支援工作的骨干人员-山形县的女性委托职员(51岁), 在 3 月末要被解职。这件事在孤儿们之间造成了不安的影响, 且影响在不断扩大。县内居住的孤儿共 46 人, 年龄在 70 岁到 80 岁, 呈高龄化趋势。在很多人读不懂日文、不会写日文这样的状况下, 这位精通中文的委托职员在长达四个半世纪以上的岁月里, 就成为了孤儿们心里的支撑。相关人员在收集请愿签名, 希望能要求县里撤回解职令。

### 4月25日(星期三)

战争结束时被遗留在旧满洲(中国东北部)等, 战后回归祖国的一些遗華日本人处于孤立状况。为了缓解这种孤立化的问题, 支援团体积极地开展了“交谈志愿者”的活动。作为厚生労働省的委托事业, 由支援遗華日本人生活的中国・四国中国帰国者支援・交流センター(广岛市南区)负责实施。向

### 12月4日(月)

厚生労働省は、中国残留邦人の集団一時帰国 4 名(残留邦人 4 名、介護人 4 名)の日程が 12 月 5 日(火)から 12 月 16 日(土)までの 12 日間になったと発表した。公益財団法人中国残留孤儿援護基金に委託して行う。厚生労働省では、平成 6 年から中国残留邦人の集団一時帰国事業を実施しており、平成 5 年以前は民間団体等による集団一時帰国が行われていた。

### 2月21日(水)

吉永小百合さん出演の新作映画「北の櫻守」が 3 月 10 日に全国公開される。第二次世界大戦末期、南樺太(サハリン南部)から引き揚げ、北海道・網走で戦後生き抜く母と息子の物語だ。吉永さんが母、堺雅人さんが息子を演じた。

### 2月23日(金)

中国残留孤児の支援の中核を担ってきた山形県の女性嘱託職員(51)が 3 月末で解職されることになり、孤児の間に動揺が広がっている。県内在住の孤児は 46 人で 70~80 代と高齢化している。日本語の読み書きができない人も多いため、中国語が堪能な嘱託職員は四半世紀以上も心の支えになってきた。関係者は署名を集め、県に解職撤回を求める考えだ。

### 4月25日(水)

終戦時に旧満州(中国东北部)などに取り残され、戦後帰国した中国残留邦人の孤立を和らげようと、支援団体が「語りかけボランティア」活動に取り組んでいる。厚生労働省の委託事業で、残留邦人の生活をサポートする中国・四国中国帰国者支援・交流センター(広島市南区)が実施。当事者が通うデイサービスセンターなどに中国語ができるボランティアを派遣している。

当事者定時或定期利用の日托服务中心派遣会中国話の志願者。

### 5月9日(星期三)

“了解中国・库页岛帰国者の集会”于3月11日在かでる 2.7 (北海道札幌市一座建築物の名称) 举行, 同时也举办了“有关遺華日本人的揭示板展”。71 名帰国者と 82 名一般市民共计 153 人参加了这项活动。主办单位为北海道中国帰国者支援・交流中心。

### 5月22日(星期二)

厚生労働省公布, 遺留在庫頁島の 6 名日本人(遺留日本人 6 人, 护理人 6 人)の集体暂时回国日程是从 5 月 23 日(星期三)到 6 月 2 日(星期六), 共计 11 天。委托“特定非営利活動法人・日本萨哈林協会”负责实施。厚生労働省从平成 7 年开始实施庫頁島の遺留日本人的集体暂时回国活动, 平成 6 年以前集体暂时回国活动是由民間団体负责实施的。

### 5月31日(星期四)

为了将帰国後の遺華日本人等在战争中・戦争後の各种体验以及经历的苦难、心境等传达给后世, 厚生労働省在“厚生労働省の动画频道 (YouTube)”上公开了收录了 18 名遺華日本人、2 名樺太等殘留日本人共计 20 人的証言影像—“遺華日本人等的証言影像～命运的軌迹～”。这是去年开始至今是第 2 次, 收录了遺華日本人 36 名, 樺太等殘留日本人 4 名共计 40 人的証言影像。此外, 在全国七所中国帰国者支援・交流中心实施出借 DVD 版, 为了开展把遺華日本人等的体验以及经历的苦难传达给后一代并加深后一代对这段历史的理解的普及启发活动, 同时促进遺華日本人与社区人们之间的交流以及提供有关学习和平的机会。証言影像讲述了帰国日本人在战争中・戦争後在中国、樺太等の生活, 戦争结束时因各种各样的原因不得不与亲人生离死别的经

### 5月9日(水)

「中国・樺太帰国者を知つどる集い」が 3 月 11 日、かでる 2.7 (北海道札幌市) で開催された。「中国殘留邦人に係るパネル展」も



同時開催し、帰国者 71 名、一般市民 82 名の計 153 名が参加した。主催は北海道中国帰国者支援・交流センター。

### 5月22日(火)

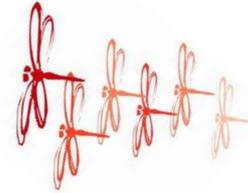
厚生労働省は、樺太等殘留邦人の集団一時帰国 6 名(殘留邦人 6 名、介護人 6 名)の日程が 5 月 23 日(水)から 6 月 2 日(土)までの 11 日間になったと発表した。特定非営利活動法人日本サハリン協会に委託して行く。厚生労働省では、平成 7 年から樺太等殘留邦人の集団一時帰国事業を実施しており、平成 6 年以前は民間団体等による集団一時帰国が行われていた。

### 5月31日(木)

厚生労働省は、帰国した中国殘留邦人等の戦中・戦後の様々な体験や労苦、思いなどを次の世代に伝えていくため、中国殘留邦人 18 名、樺太等殘留邦人 2 名の計 20 名の証言映像を収録した「中国殘留邦人等の証言映像～運命の軌跡～」を、「厚生労働省動画チャンネル (YouTube)」で公開した。昨年引き続き 2 回目、これで中国殘留邦人 36 名、樺太等殘留邦人 4 名の計 40 名の証言映像となる。また、全国 7 カ所の中国帰国者支援・交流センターで DVD 版を貸し出し、中国殘留邦人等の体験や労苦を次の世代に継承する取り組みや理解を深める普及啓発、地域の人々との交流や平和学習の機会などに活用できるようにする。証言映像には、戦中・戦後の中国や樺太等での生活、終戦時に肉親と離死別するなど様々な事情で残留を余儀なくされたこと、肉親捜しや肉親との再会、帰国後に直面した言葉の壁・生活習慣の相違・就労や家族の問題等の労苦、現在の生活、思いなどが語られている。

历, 寻找亲人以及与亲人再会, 回国后面对的语言的障碍・生活习惯的不同・就业问题以及家庭问题等的苦恼, 现在的生活以及心境等等。

请注意: 本栏目的新闻皆为一般报章的报道摘要。因此, 并非为政府正式公布之内容, 其中一部分还包含媒体的观察消息, 敬请注意。



ご注意: 本欄の内容は、すべて一般の新聞などで報道された内容を要約して掲載しているものです。したがって、政府が公式に発表したものではなく、一部には報道機関の観測記事なども含まれていますので、ご注意ください。